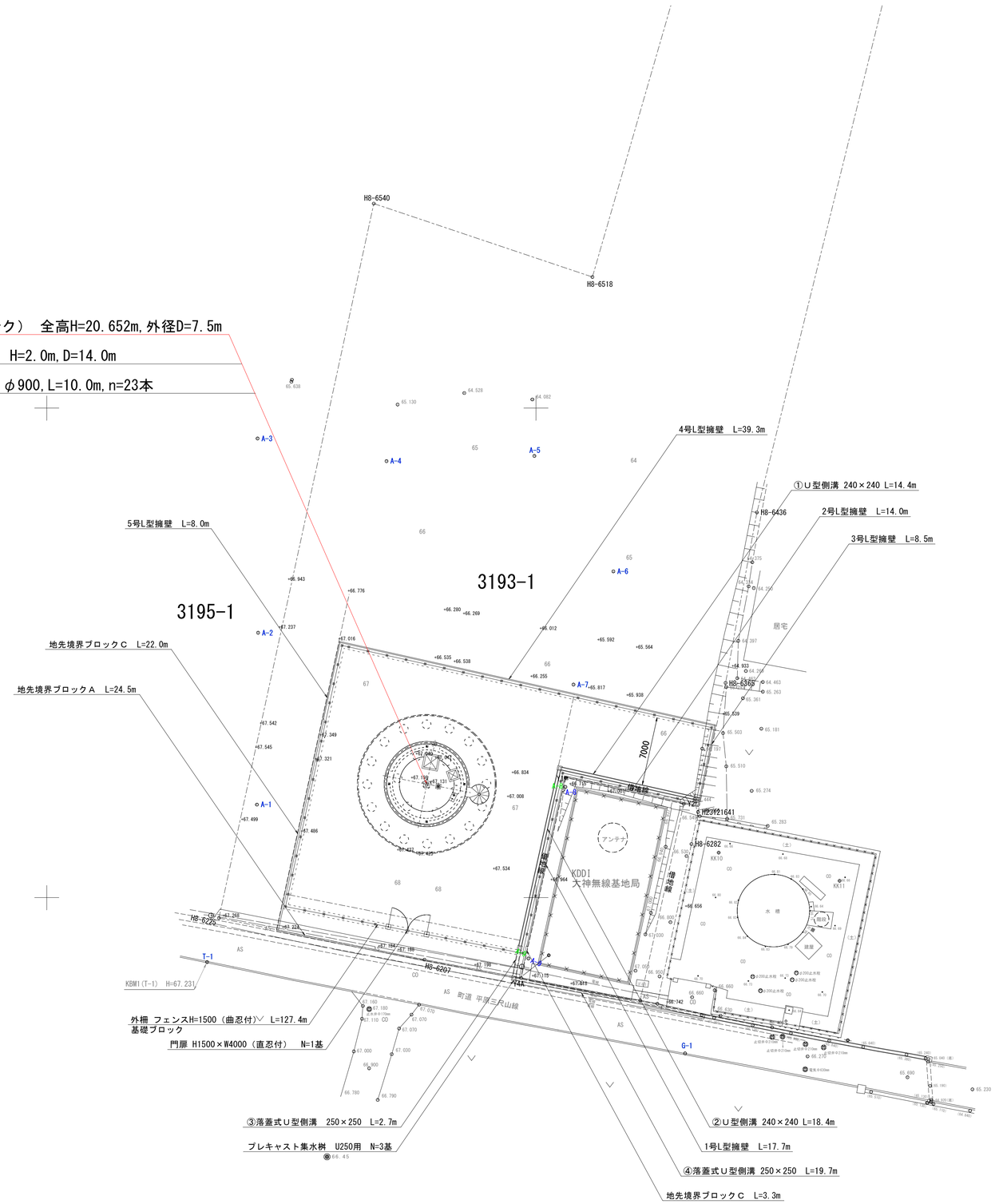
令和　　年度	
平　面　図	S=1：250
三尺山高架水槽築造　工事	
速見郡日出町大字大神	
測　量	令和　年　月　日
設　計	令和　年　月　日
H-01	
大 分 県 日 出 町	



基準点

	X座標	Y座標
T-1	40893.414	53616.380
T-2	40899.180	53585.062
A-1	40909.496	53621.481
A-2	40927.050	53621.602
A-3	40946.891	53621.543
A-4	40944.579	53634.722
A-5	40945.110	53649.836
A-6	40933.323	53657.913
A-7	40921.757	53653.836
A-8	40911.304	53653.013
A-9	40893.783	53649.223

高架水槽

	X座標	Y座標
中心地点	40911.595	53638.837

令和　　年度	
一般構造図	S=1：60
三尺山高架水槽築造　　工事	
速見郡日出町大字大神	
測　量	令和　年　月　日
設　計	令和　年　月　日
H-02	
大分県日出町	

一 般 構 造 図　S=1:60

〈設計条件〉有効容量Ve=150m3

内　　径 D (m)	7.000
有効水深 He(m)	3.900
計算水深 H (m)	4.600
壁　　厚 t (m)	0.250

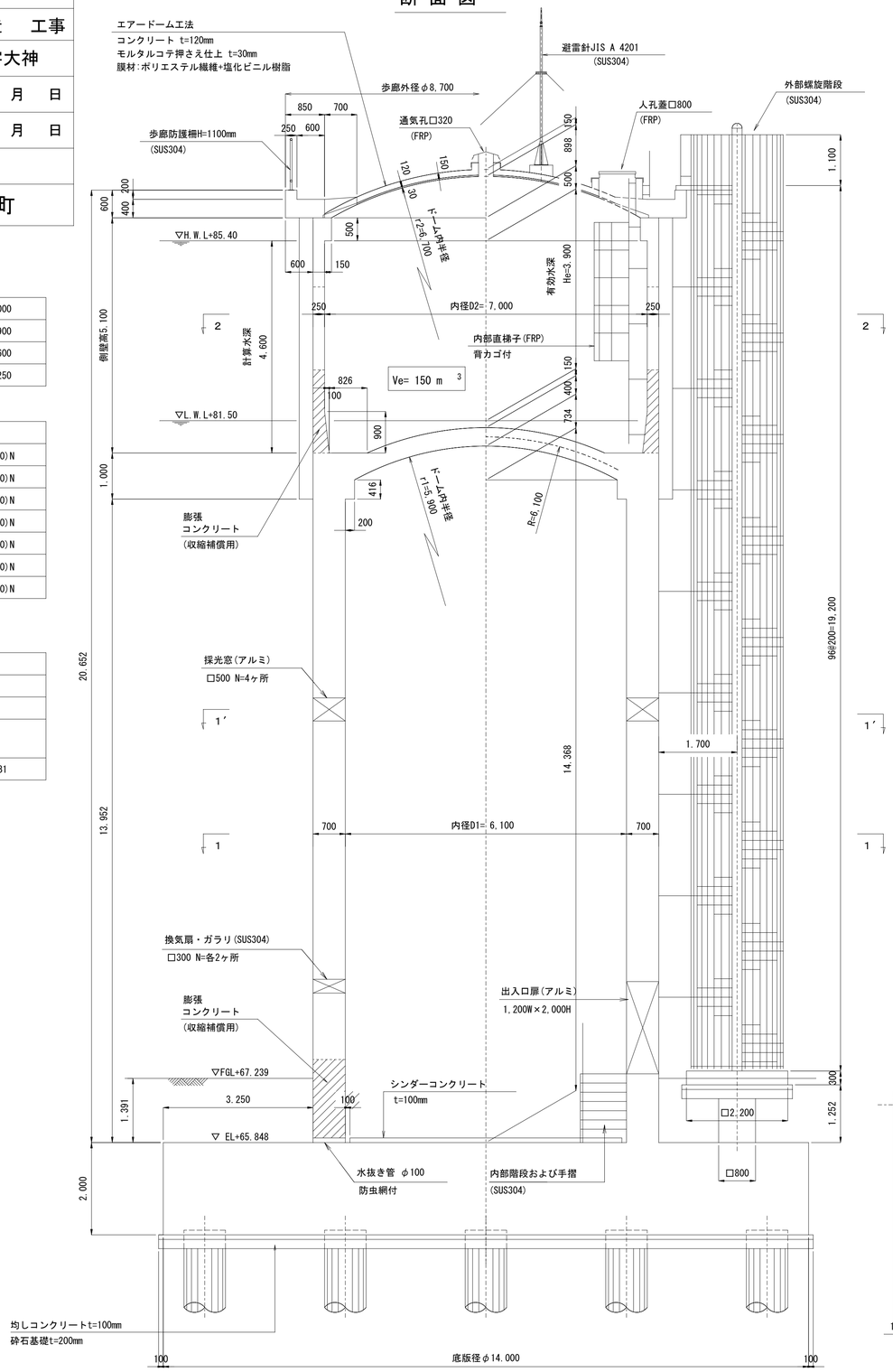
基礎形式：杭基礎

コンクリート設計基準強度(N/mm2)	
屋根歩廊	24-12-25(20)N
側　　壁	36-12-25(20)N
水 底 版	30-12-25(20)N
脚　　壁	24-12-25(20)N
基 礎 版	24-12-25(20)N
階段基礎	24-12-25(20)N
均しコン	18-12-25(20)N

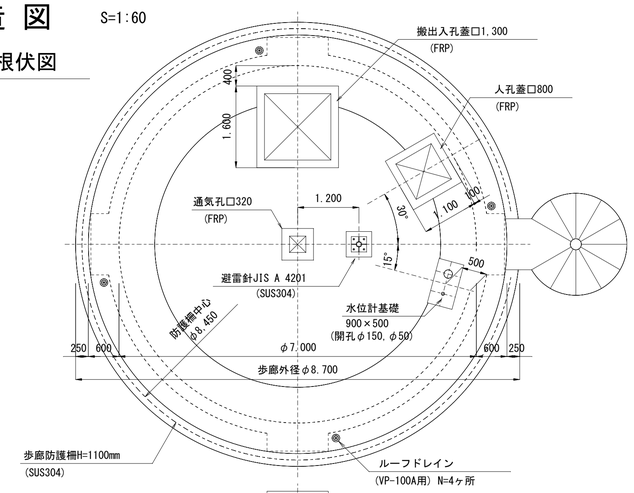
※側壁および脚壁1段目は膨張コンクリート
（収縮補償用）とする。

鉄 筋 種 別	
SD345	
P C 鋼 材	
横　締	SWPR7BL 1S15.2B SWPR19L 1S19.3
縦　締	SBPR930/1080 1B17B1

断 面 図

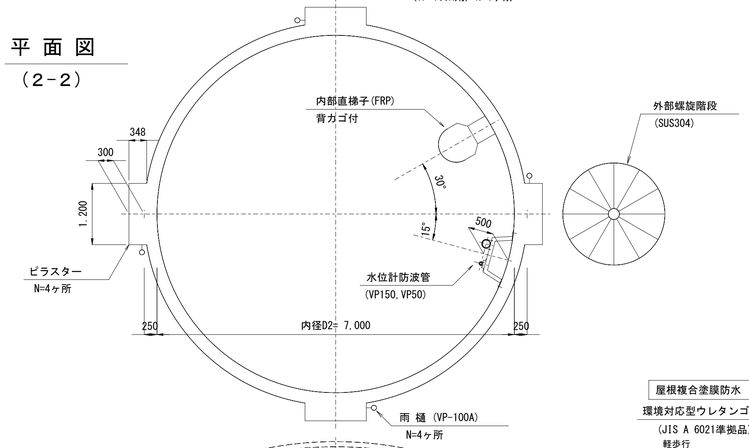


屋根伏図

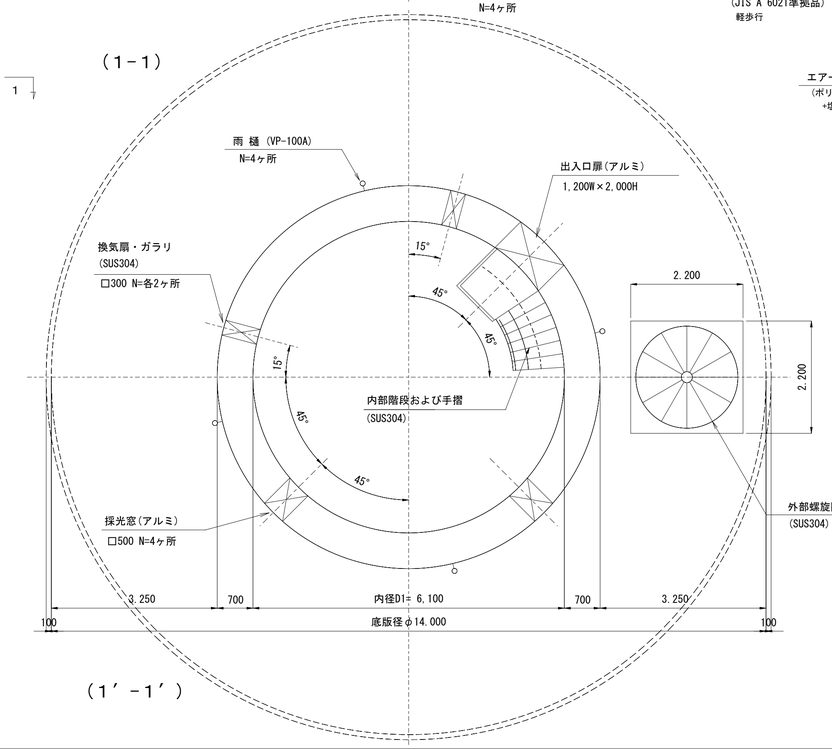


平 面 図

（2-2）

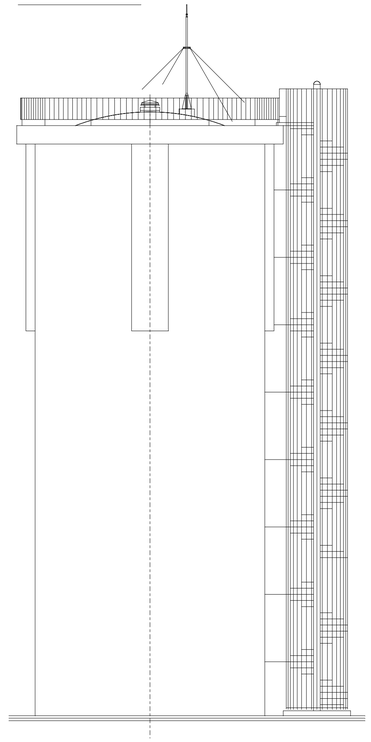


（1-1）

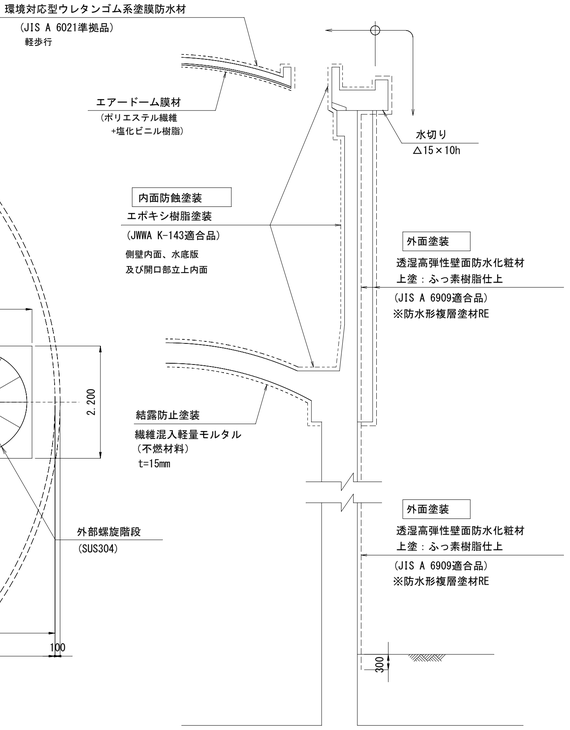


（1′-1′）

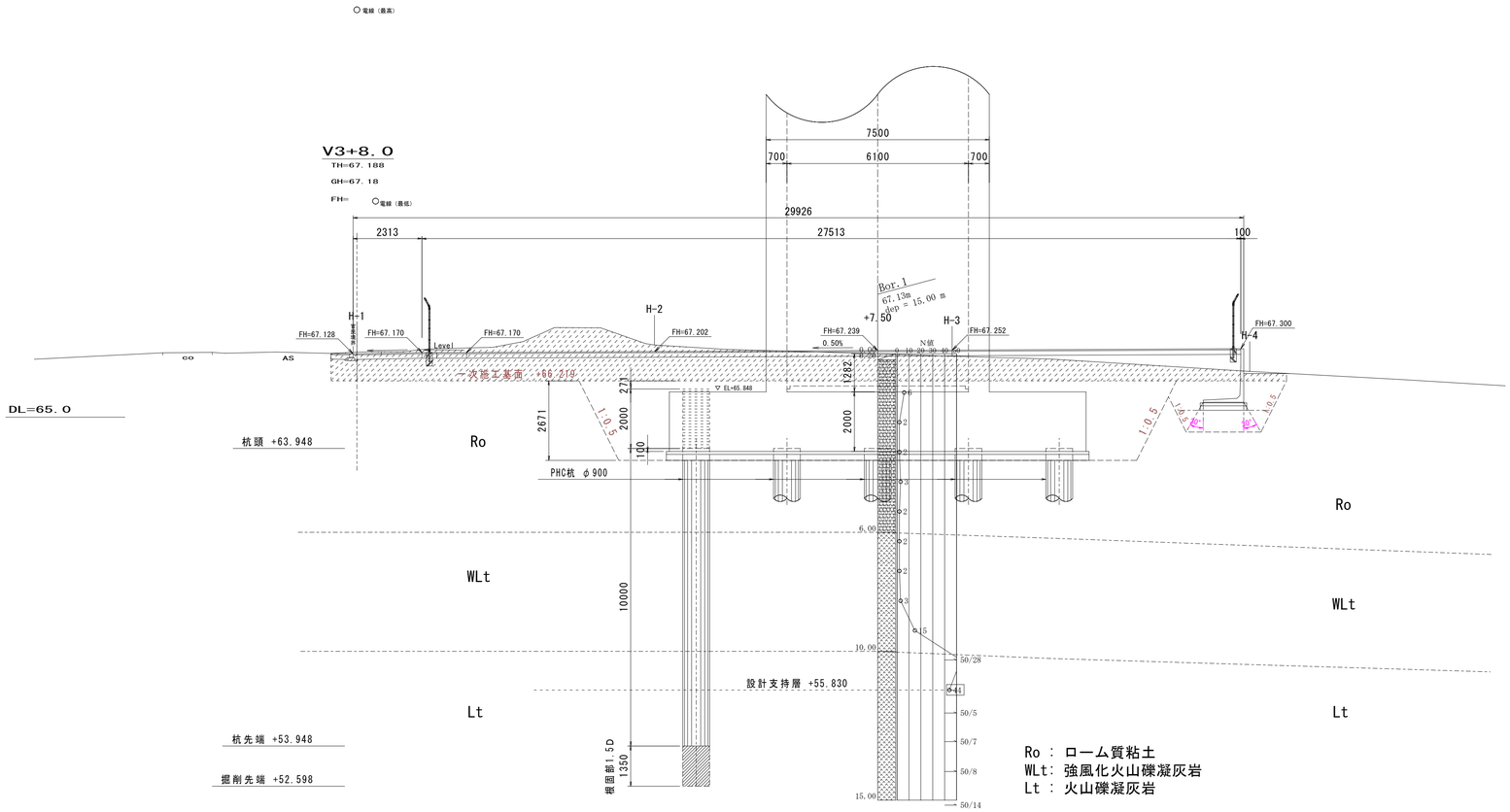
立 面 図

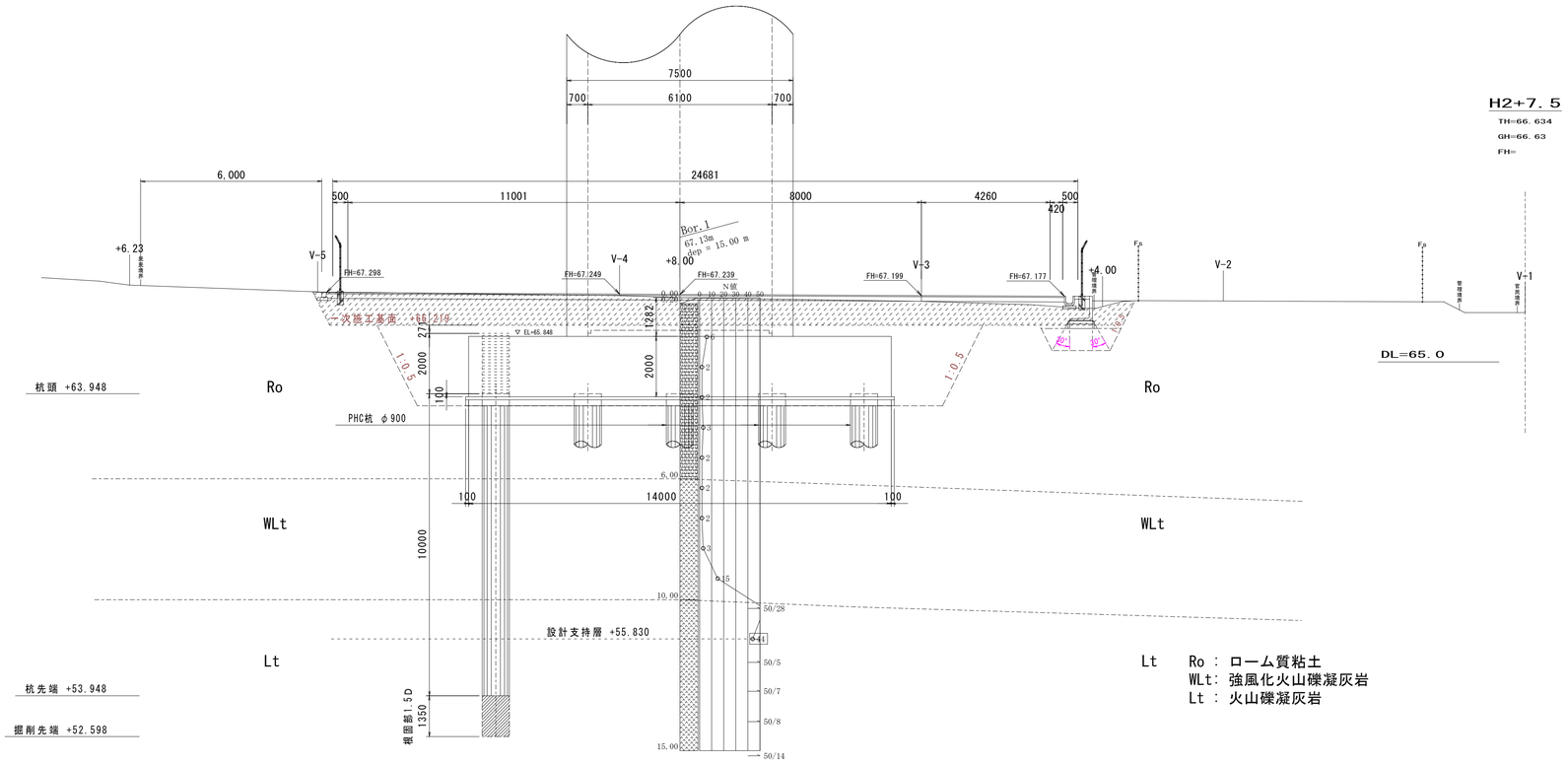


塗装概要図



令和　　年度	
横　断　図	S=1：100
三尺山高架水槽築造　工事	
速見郡日出町大字大神	
測　量	令和　年　月　日
設　計	令和　年　月　日
H-03	
大 分 県 日 出 町	



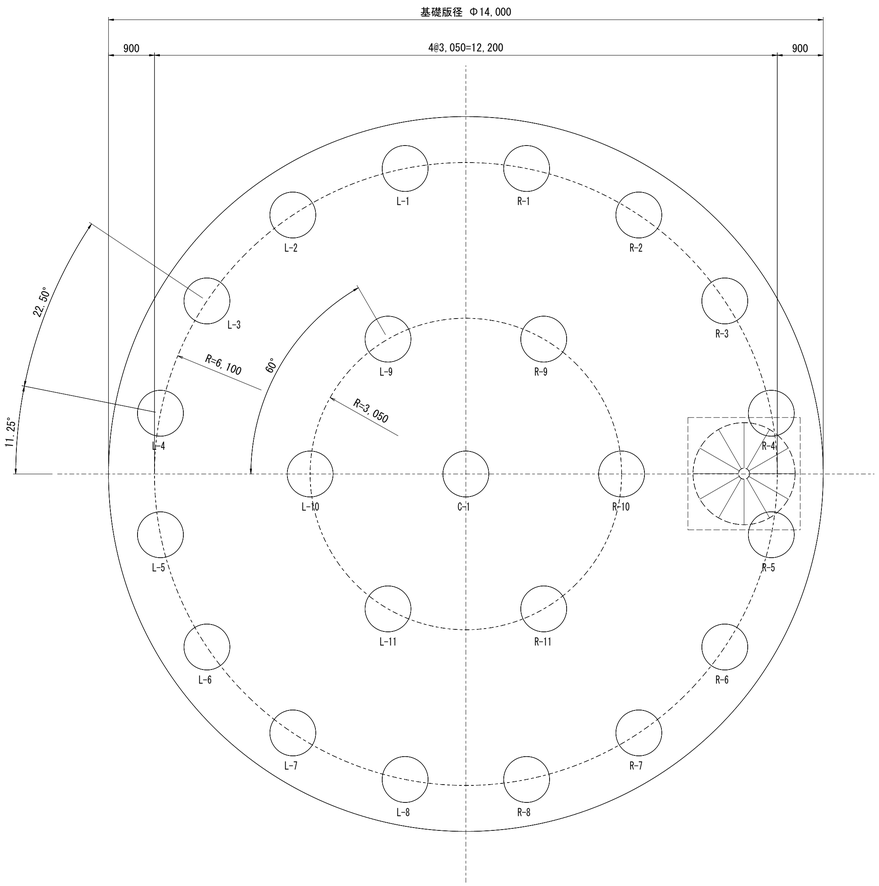


令和　　年度	
基礎杭図(1)	S=図示
三尺山高架水槽築造　　工事	
速見郡日出町大字大神	
測　量	令和　年　月　日
設　計	令和　年　月　日
H-04	
大分県日出町	

・杭体と杭周面のソイルセメント柱間の付着力が確実に得られるよう、σ28≧1.5N/mm²とする。
・上記確認方法は、試験杭で造成したソイルセメント試料を採取するなどして試験を実施する。

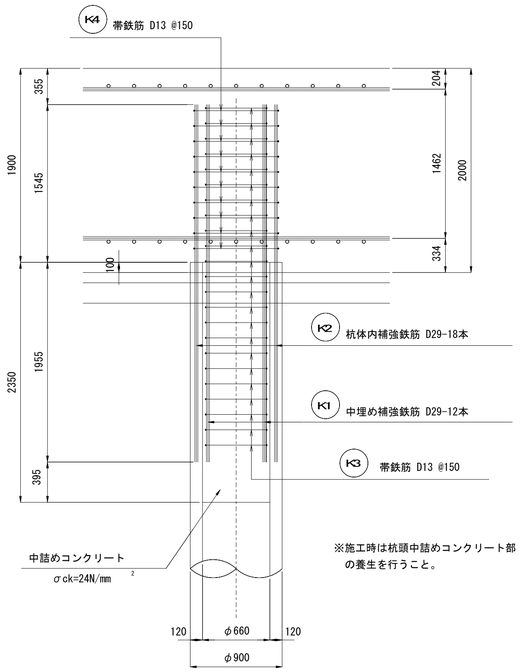
基 礎 杭 図 (1)　S=1:60

平 面 図

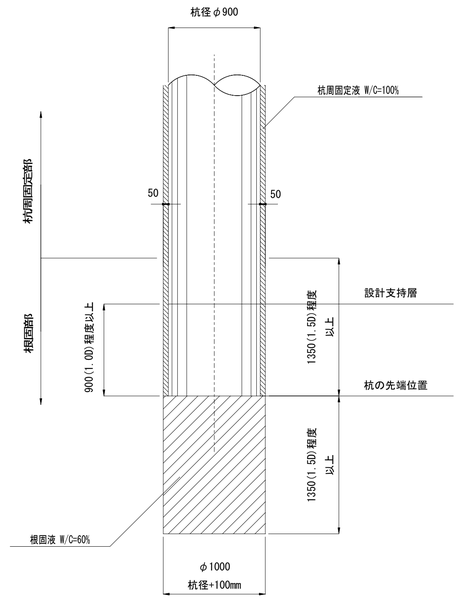


杭頭鉄筋図　S=1:30

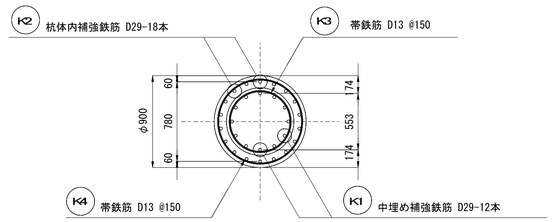
断面図



杭先端図　S=1:30



平面図



杭芯位置座標

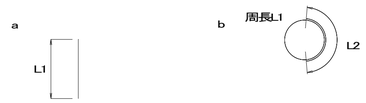
	X座標	Y座標
C-1	40911.595	53638.837
L-1	40917.695	53638.815
L-2	40917.222	53636.482
L-3	40915.892	53634.508
L-4	40913.908	53633.193
L-5	40911.572	53632.737
L-6	40909.240	53633.210
L-7	40907.266	53634.540
L-8	40905.951	53636.524
L-9	40914.479	53637.846
L-10	40912.179	53635.844
L-11	40909.294	53636.835
R-1	40917.239	53641.151
R-2	40915.924	53643.135
R-3	40913.950	53644.464
R-4	40911.618	53644.937
R-5	40909.282	53644.482
R-6	40907.298	53643.167
R-7	40905.968	53641.193
R-8	40905.495	53638.860
R-9	40913.896	53640.840
R-10	40911.011	53641.831
R-11	40908.711	53639.828

施工方法 ： プレボーリング杭工法（道路橋示方書準拠）

記　号	杭　径	杭頭 EL	先端 EL	杭　長	上杭仕様	下杭仕様	本　数
○	φ900	+63.948	+53.948	10m	PHC杭（C種（JIS）強化杭） L=7.0m（カット オフ2.0m分含む）	PHC杭 A種 L=5.0m	23

杭 頭 鉄 筋

番　号	形　状	鉄筋径	L1	L2	計	単位重量	1本重さ	本　数	重　量	備　考
K1	a	D29	3500		3,500	5.040	17.640	276	4,869	SD345
K2	a	D29	3500		3,500	5.040	17.640	414	7,303	SD345
K3	b	D13	1869	520	2,389	0.995	2.377	529	1,257	SD345
K4	b	D13	2582	520	3,102	0.995	3.086	230	710	SD345



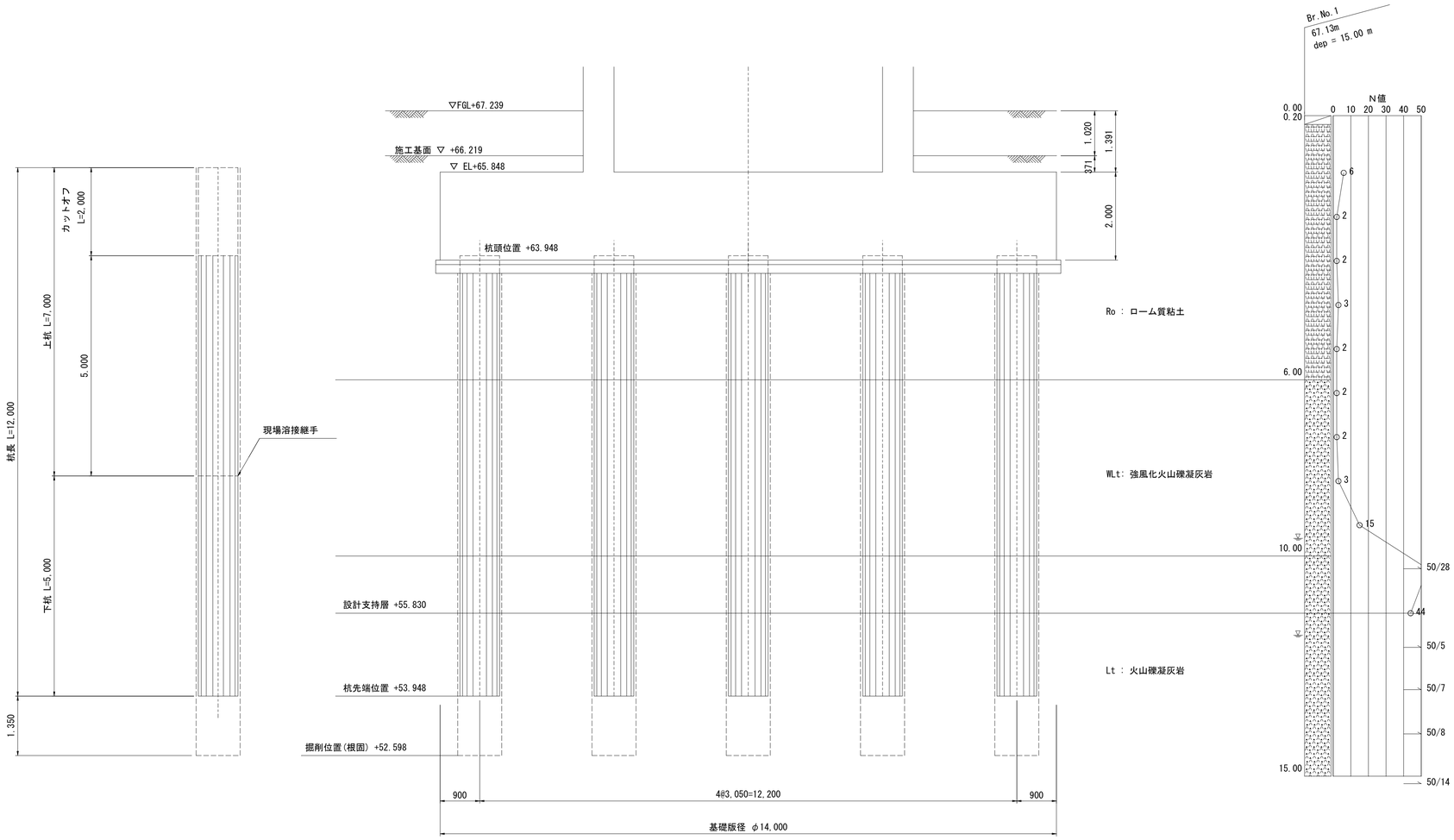
D13　1,967 kg
D29　4,869 kg
合計　6,836 kg
（杭頭鉄筋）

D29　7,303 kg
（杭材に含む）

令和　　年度	
基礎杭図(2)	S=1：60
三尺山高架水槽築造　　工事	
速見郡日出町大字大神	
測　量	令和　年　月　日
設　計	令和　年　月　日
H-05	
大分県日出町	

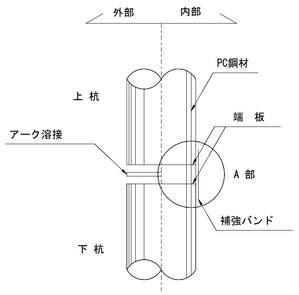
基 礎 杭 図 (2)　S=1:60

断 面 図

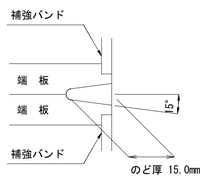


※施工時に地盤が軟弱な場合は、監督員と協議の上、必要に応じて対策を施すこと。

溶接継手(例)



A 部

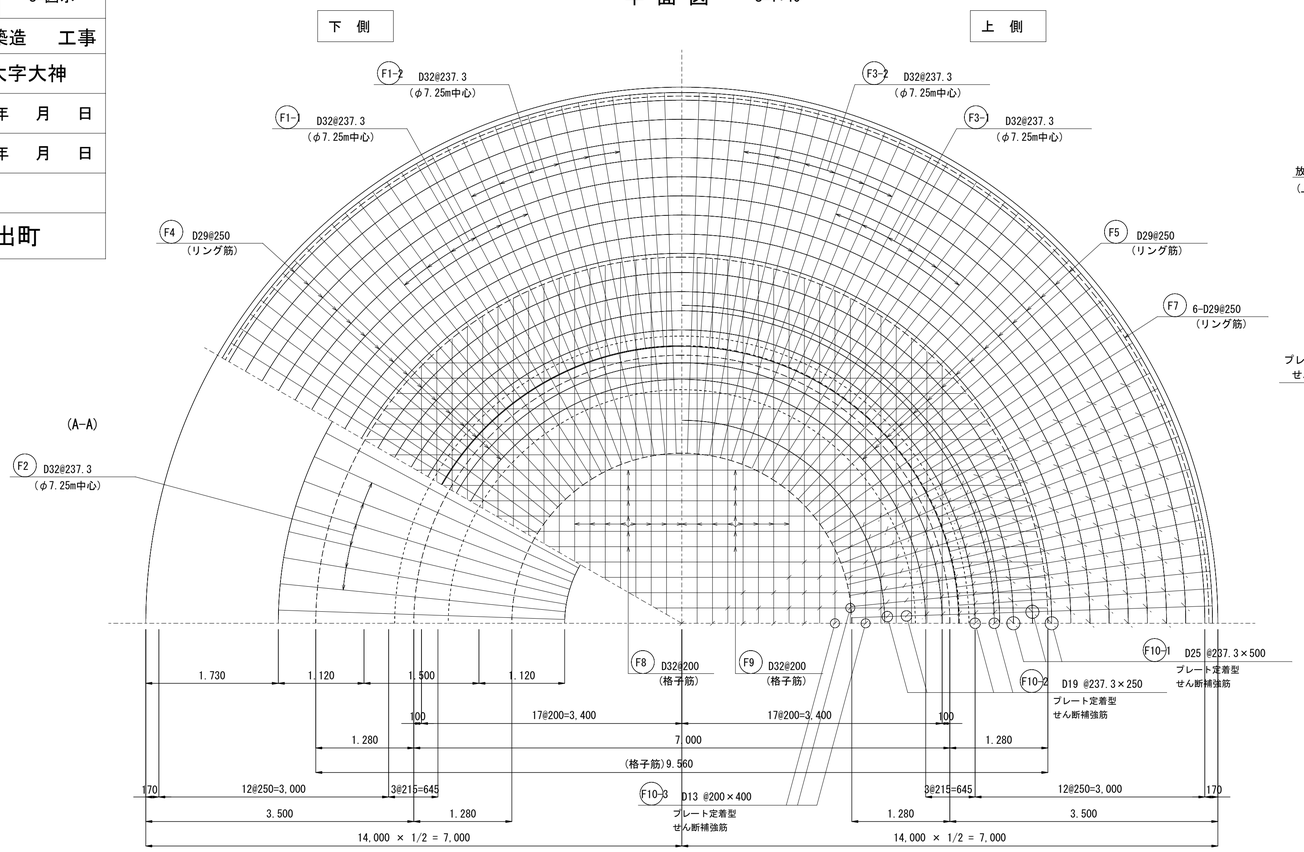


※継手の仕様は道路橋示方書に準拠すること。

令和　　年度	
基礎版配筋図(1)	S=図示
三尺山高架水槽築造　　工事	
速見郡日出町大字大神	
測　量	令和　年　月　日
設　計	令和　年　月　日
H-06	
大分県日出町	

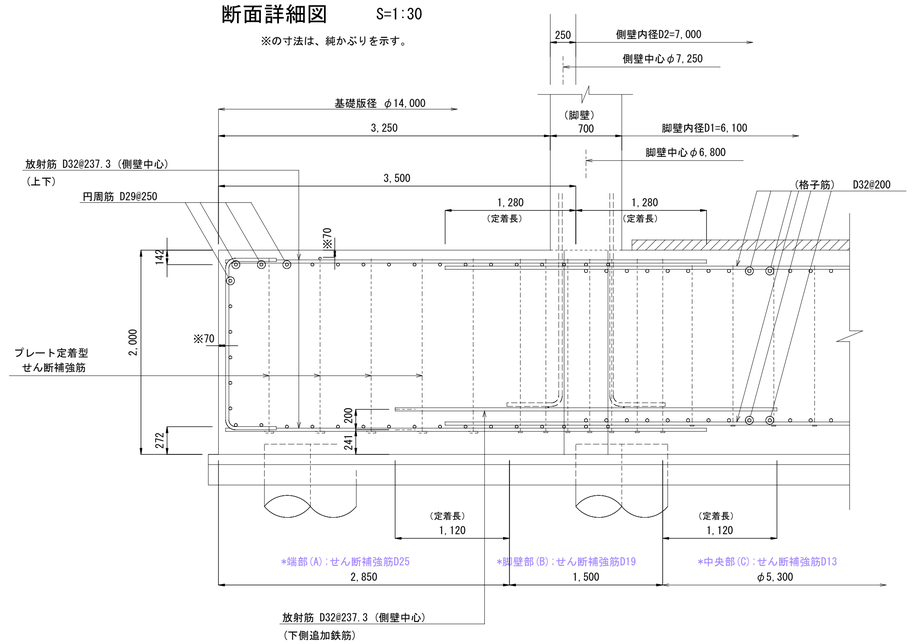
基 礎 版 配 筋 図（1）

平 面 図　S=1:40

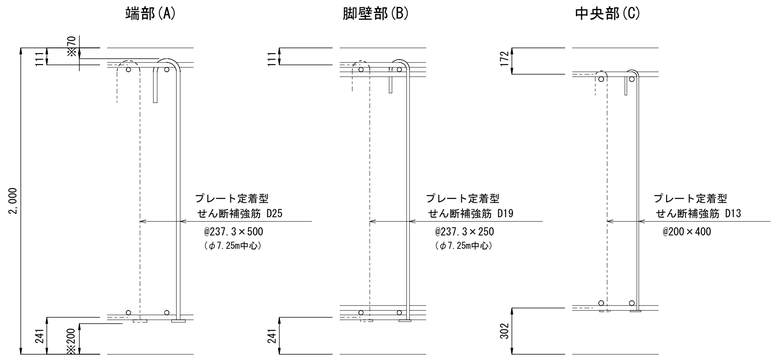


断面詳細図　S=1:30

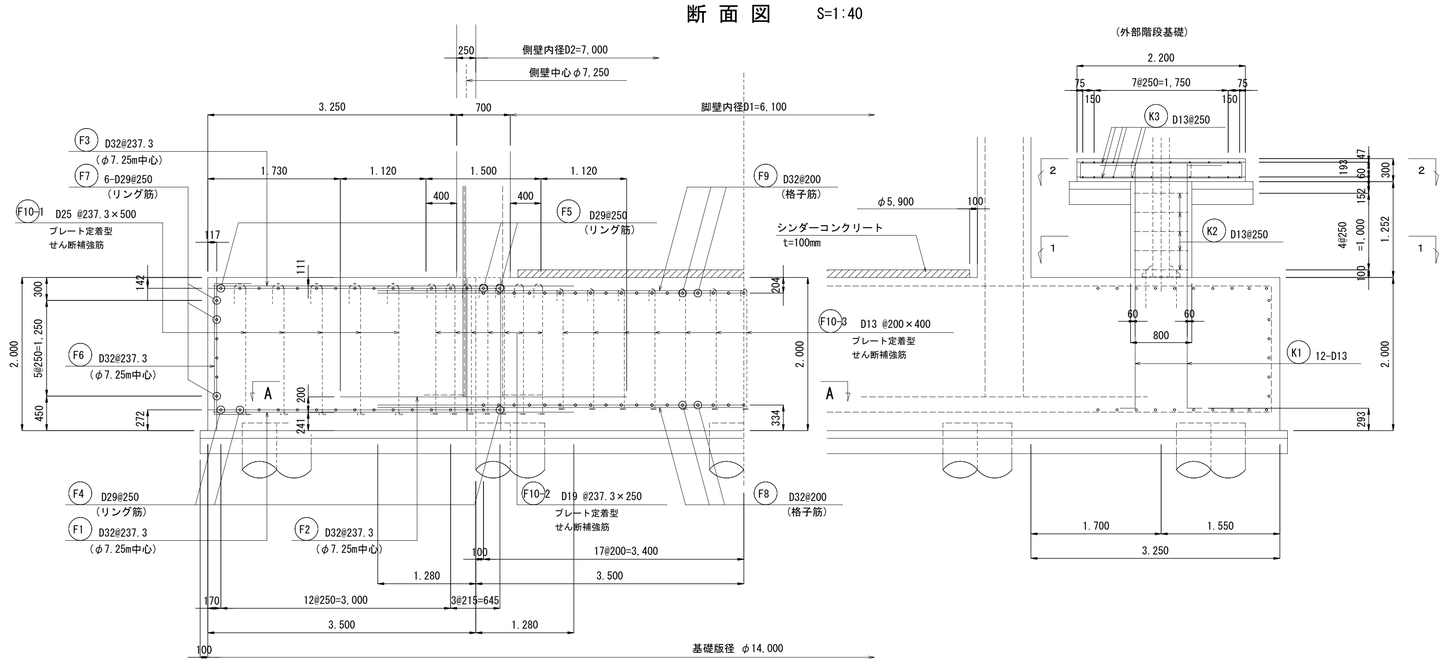
※の寸法は、純かぶりを示す。



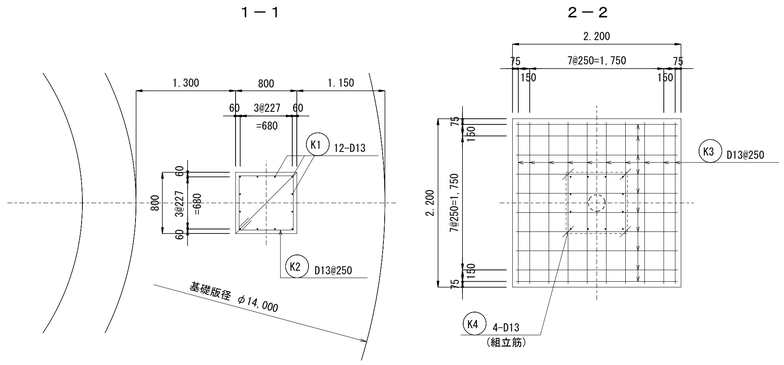
せん断補強筋　S=1:20



断 面 図　S=1:40



外部階段基礎配筋図　S=1:40



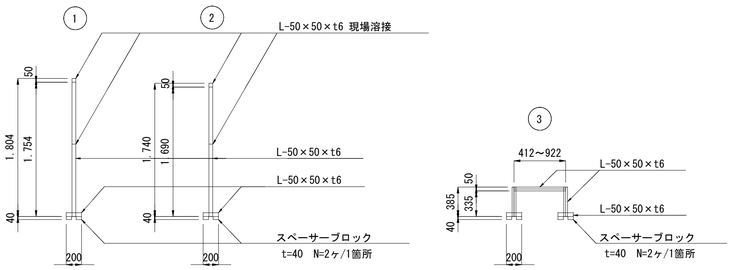
令和　　年度	
基礎版配筋図(2)	S=1：40
三尺山高架水槽築造　　工事	
速見郡日出町大字大神	
測　量	令和　年　月　日
設　計	令和　年　月　日
H-07	
大分県日出町	

基 礎 版 配 筋 図（2）

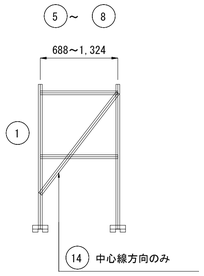
基礎版鉄筋組立用 鋼材配置図(参考図)

S=1:40

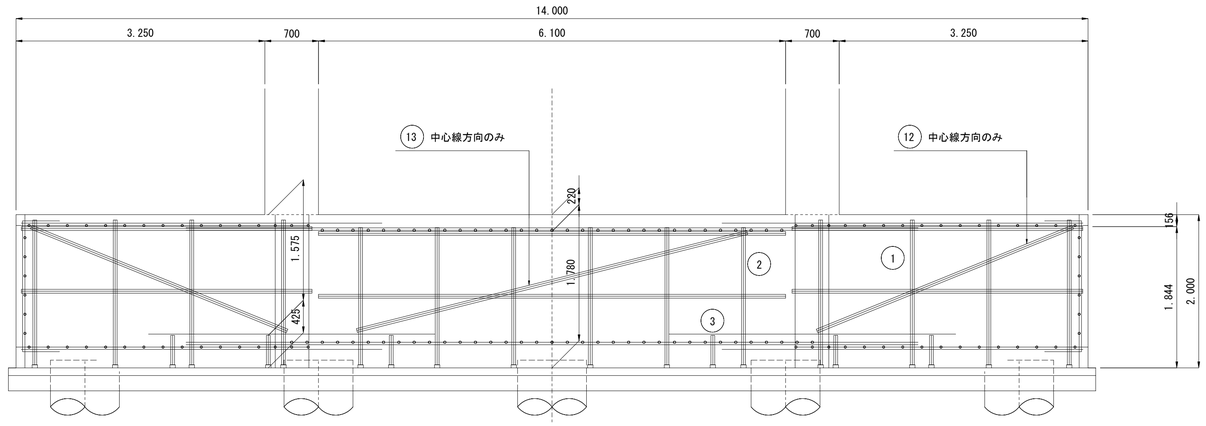
縦方向 詳細図



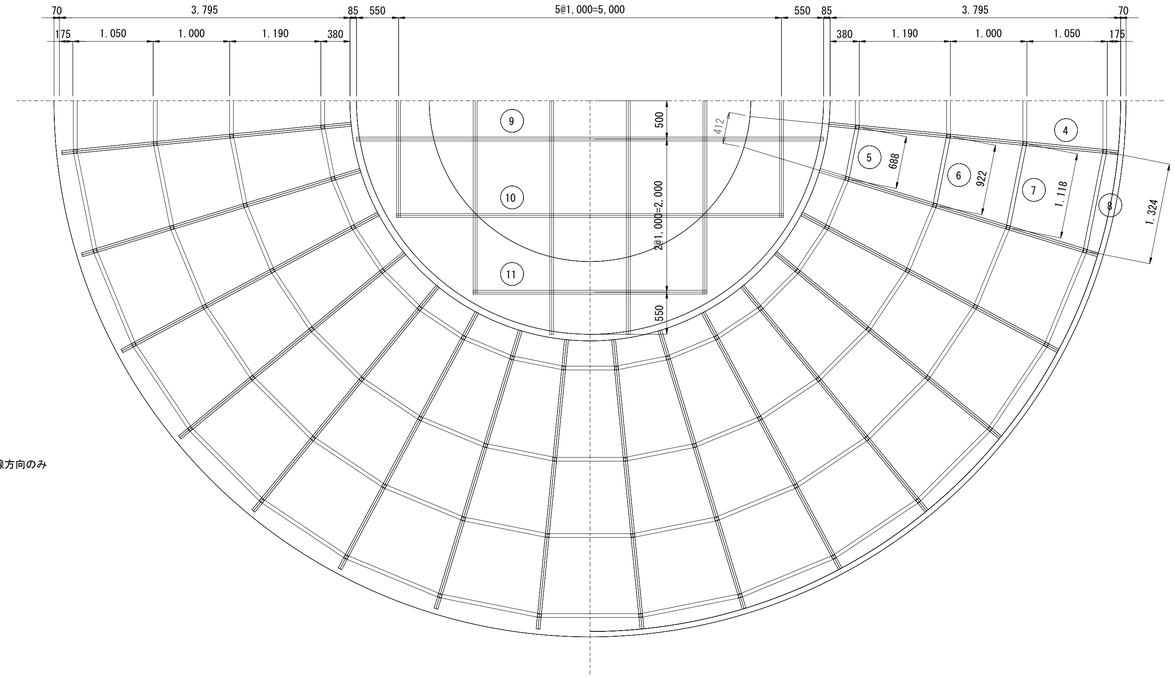
端部 円周方向



断 面 図



平 面 図



材 料 表 (SS400)

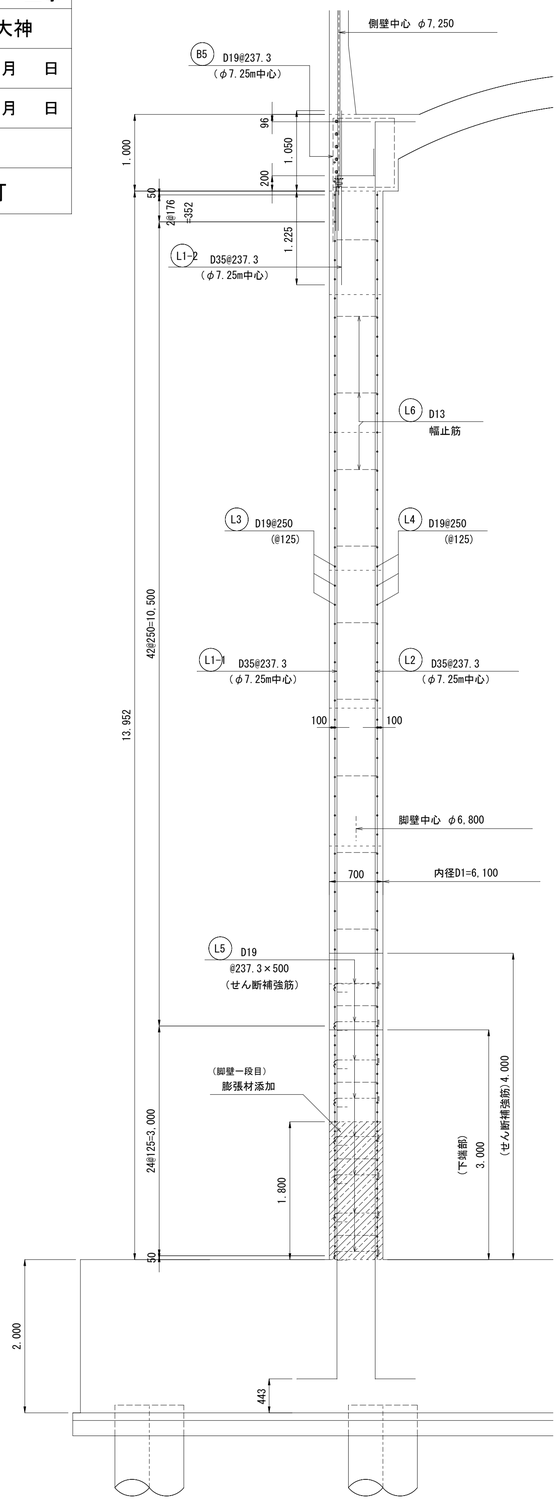
位　　置	番号	鋼材種類	鋼材長さ(m)	個数	段数	合計長さ(m)
縦方向(端　部)	①	L-50×50×t6	2.004	128	1	256.5
縦方向(中央部)	②	L-50×50×t6	1.940	32	1	62.1
縦方向(下筋用)	③	L-50×50×t6	1.840	96	1	176.6
放射方向(端部)	④	L-50×50×t6	3.795	32	2	242.9
円周方向(端部)	⑤	L-50×50×t6	0.688	32	2	44.0
	⑥	L-50×50×t6	0.922	32	2	59.0
	⑦	L-50×50×t6	1.118	32	2	71.6
	⑧	L-50×50×t6	1.324	32	2	84.7
格 子 方 向	⑨	L-50×50×t6	6.100	4	2	48.8
	⑩	L-50×50×t6	5.050	4	2	40.4
	⑪	L-50×50×t6	3.050	4	2	24.4
斜 方 向 (中心線方向のみ)	⑫	L-50×50×t6	3.610	2	4方向	28.9
	⑬	L-50×50×t6	5.260	2	2方向	21.0
	⑭	L-50×50×t6	1.670(平均)	4	4方向	26.7
				合　計		1187.6 m

※斜材は中心線方向のみ

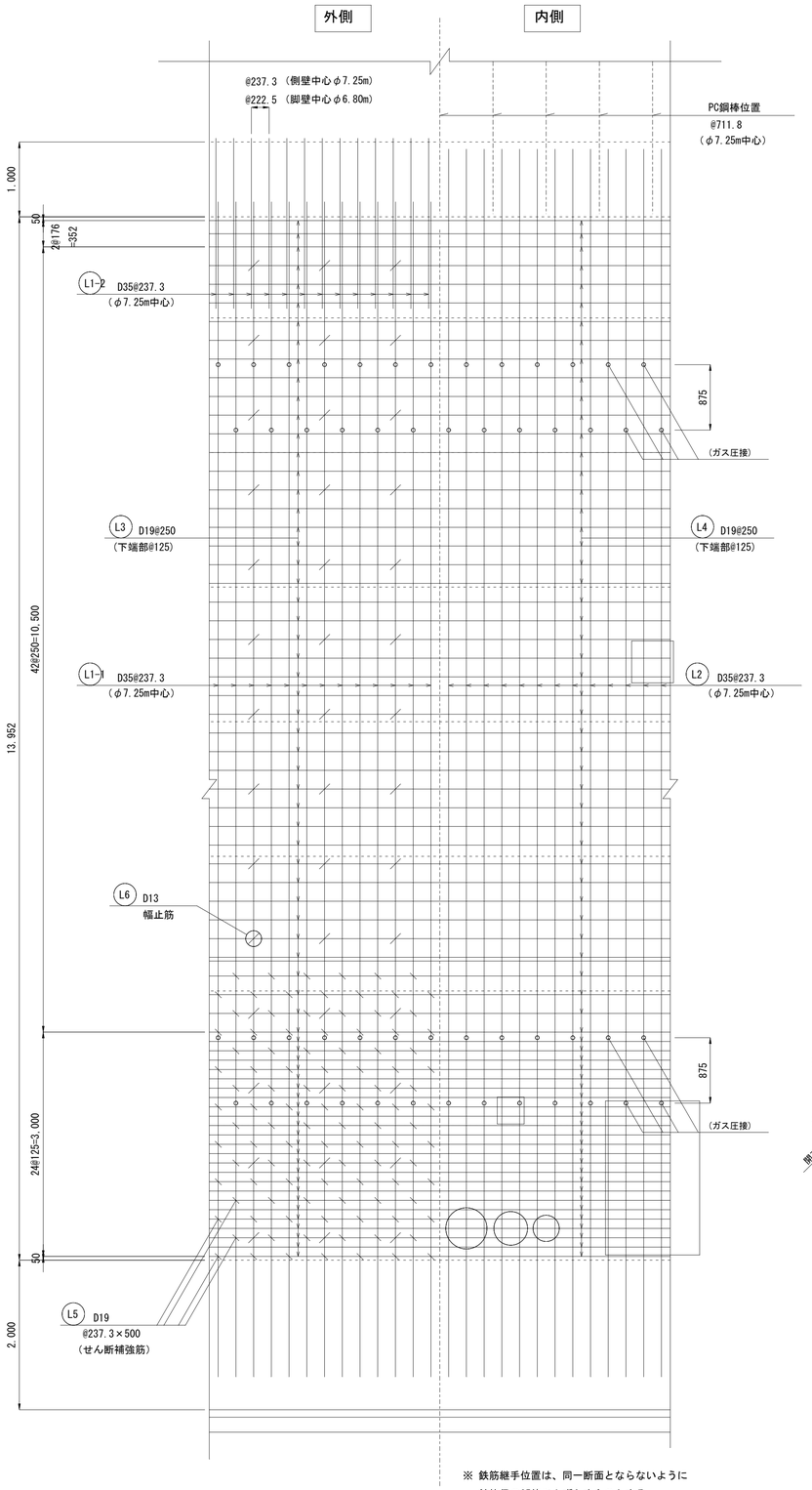
令和　　年度	
脚壁配筋図(1)	S=図示
三尺山高架水槽築造　　工事	
速見郡日出町大字大神	
測　量	令和　年　月　日
設　計	令和　年　月　日
H-08	
大分県日出町	

脚 壁 配 筋 図（1）

断 面 図　S=1:40

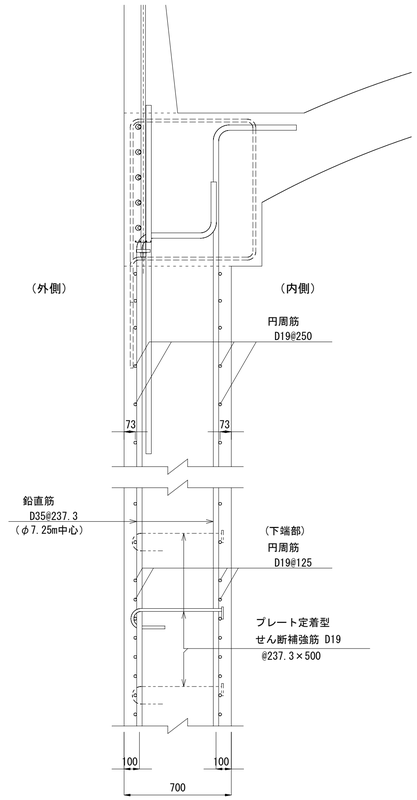


展 開 図　S=1:40



※ 鉄筋継手位置は、同一断面とならないように
鉄筋径の25倍以上ずらすものとする。

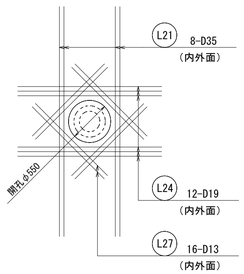
断面詳細図　S=1:20



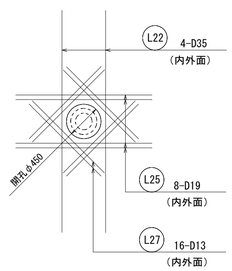
配管補強筋　S=1:40

(N=各1ヶ所)

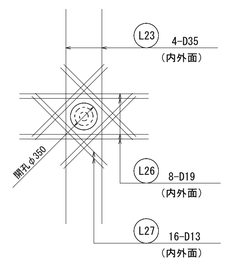
流入管① φ250



流入管②,流出管 φ200



越流管・排泥管 φ100

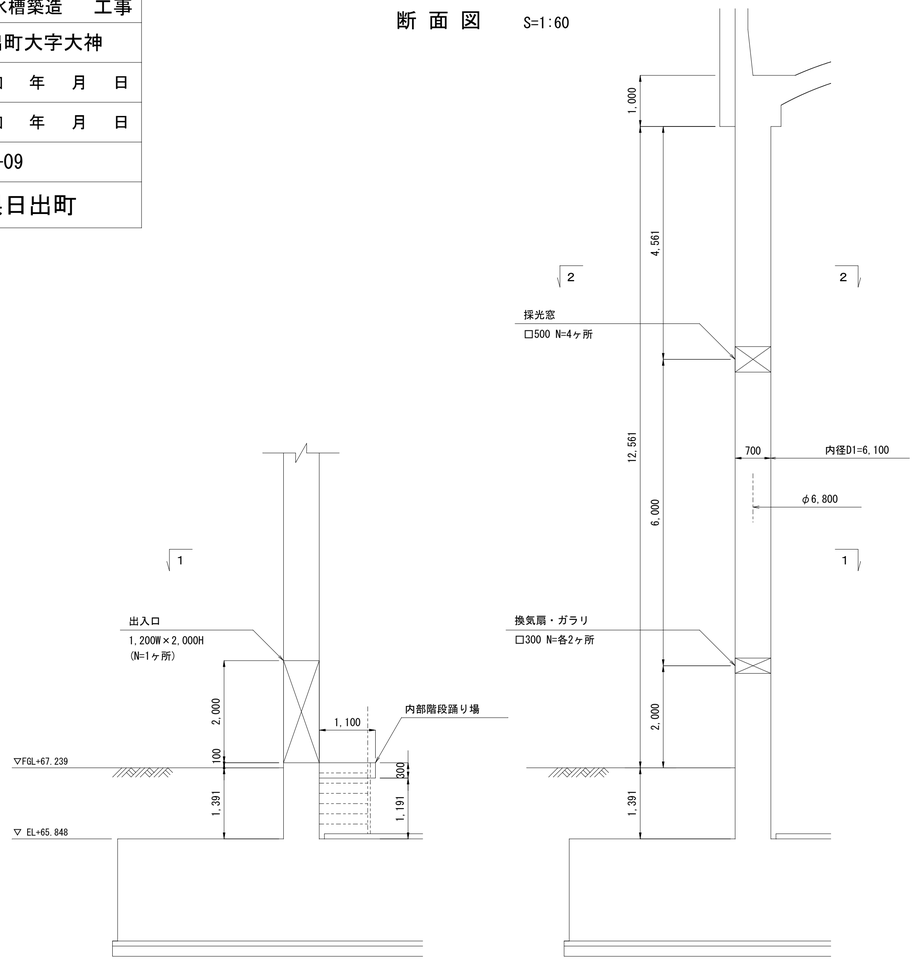


※ 配管周りはモルタルにて充填すること。

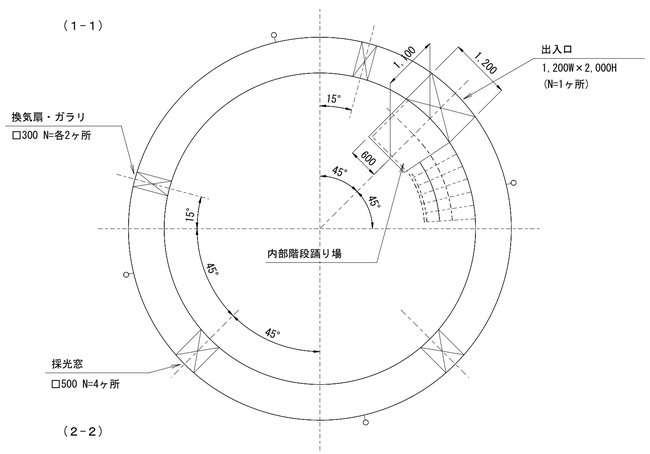
令和　　年度	
脚壁配筋図(2)	S=図示
三尺山高架水槽築造　　工事	
速見郡日出町大字大神	
測　量	令和　年　月　日
設　計	令和　年　月　日
H-09	
大分県日出町	

脚 壁 配 筋 図（2）

断 面 図　S=1:60



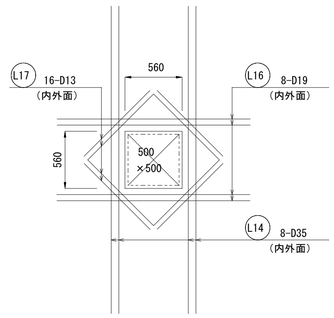
断 面 図　S=1:60



開口補強筋　S=1:30

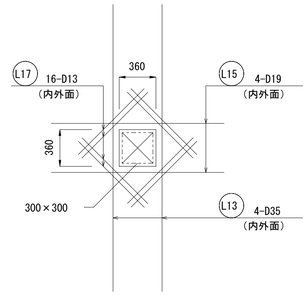
採光窓

(N=4ヶ所)



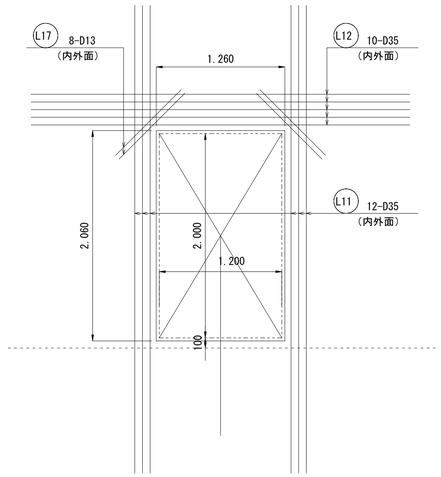
換気扇・ガラリ

(N=各2ヶ所)

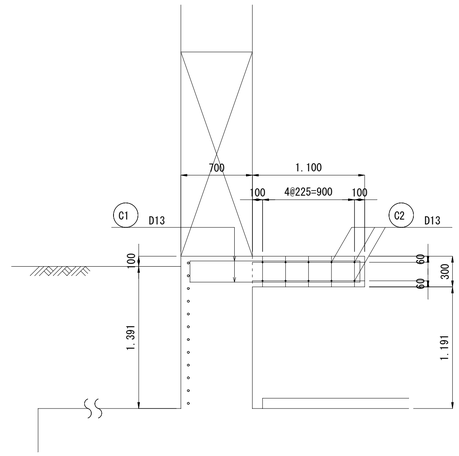


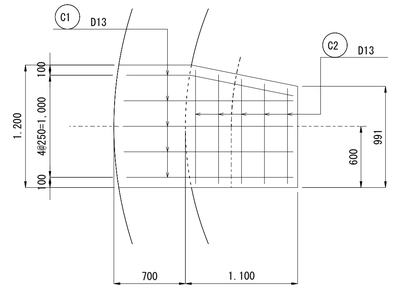
出入口

(N=1ヶ所)

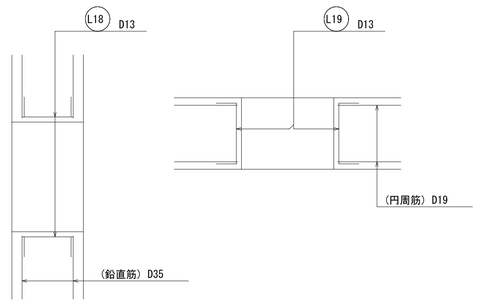


内部階段踊り場配筋図　S=1:30





（かぶせ筋）



※ 開口部寸法・位置を確認のこと。

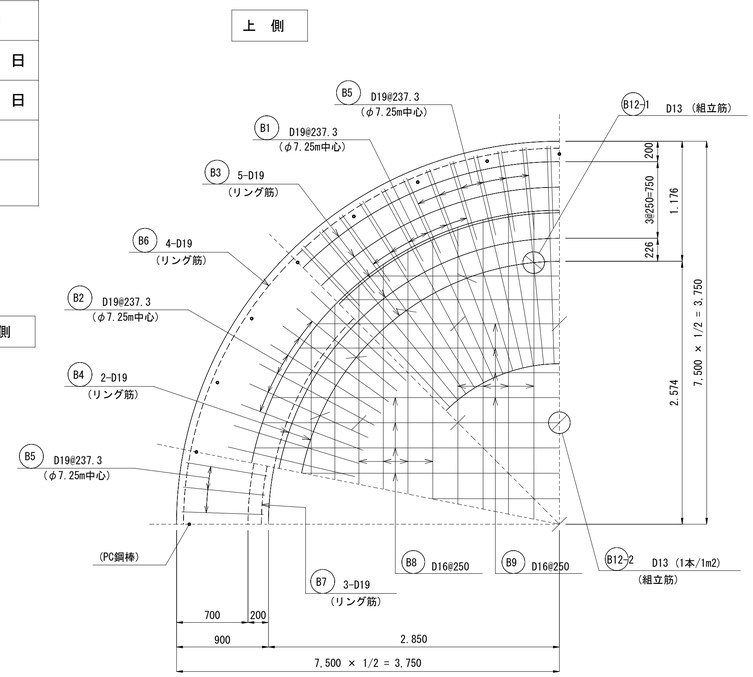
※ 開口部により切断される鉄筋の端部には かぶせ筋を施す。

※ 開口部により配置できないせん断補強筋（ L5 D19@237.3×500)は、
開口部周辺に配置すること。

水 底 版 配 筋 図

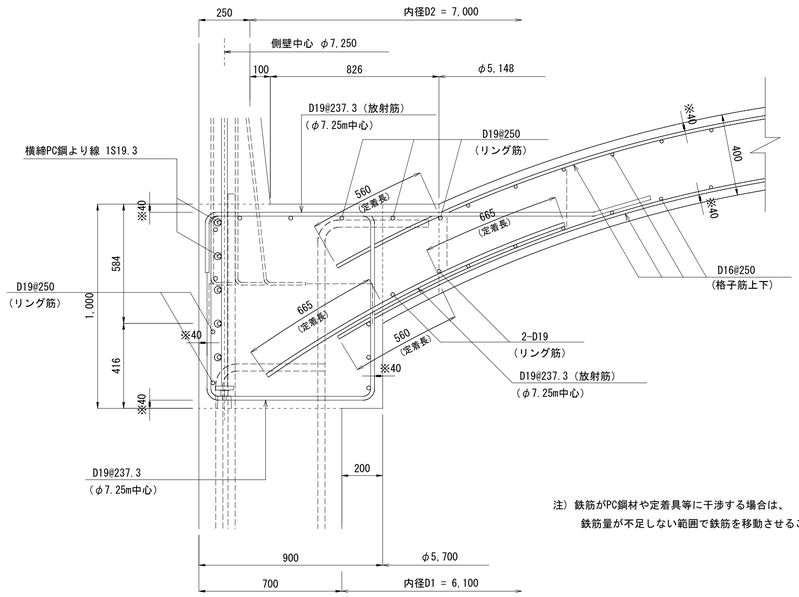
令和　　年度	
水底版配筋図	S=図示
三尺山高架水槽築造　　工事	
速見郡日出町大字大神	
測　量	令和　年　月　日
設　計	令和　年　月　日
H-10	
大分県日出町	

平 面 図　S=1:30



断面詳細図　S=1:15

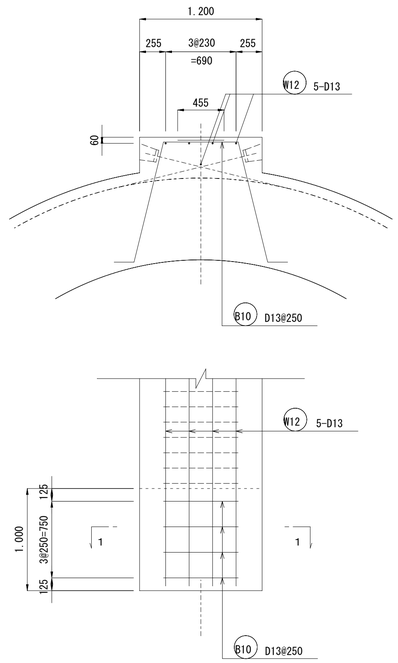
※の寸法は、純かぶりを示す。



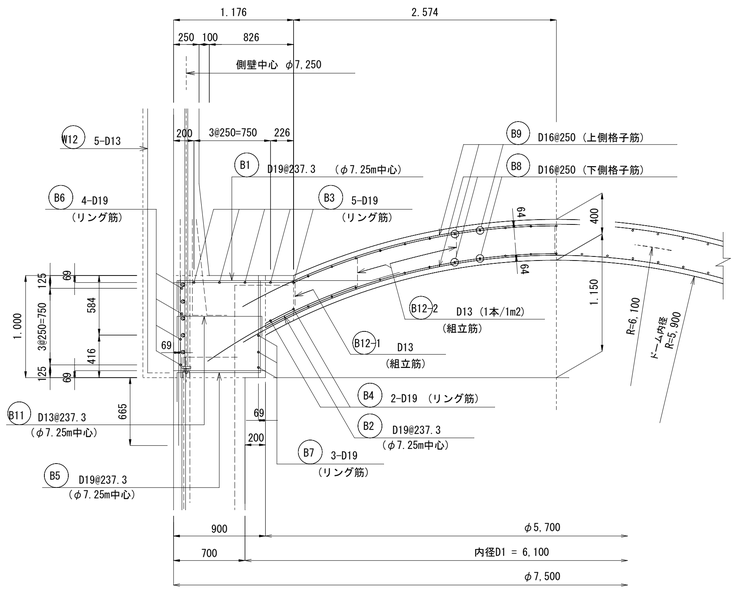
注）鉄筋がPC鋼材や定着具等に干渉する場合は、
鉄筋量が不足しない範囲で鉄筋を移動させること。

ピラスター
(N=4ヶ所)

1 ― 1

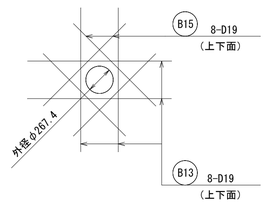


断 面 図　S=1:30

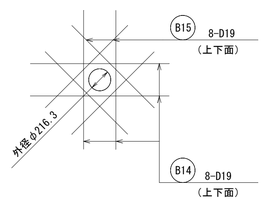


配管補強筋　S=1:40
(N=各1ヶ所)

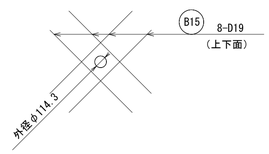
流入管①　φ250



流入管②,流出管　φ200



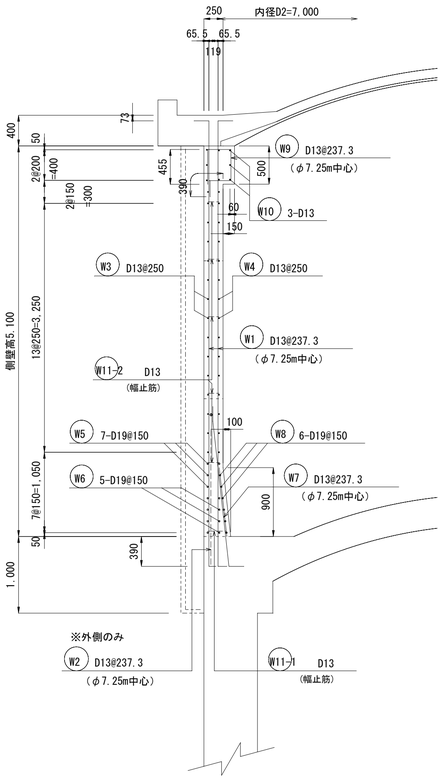
越流管・排泥管　φ100



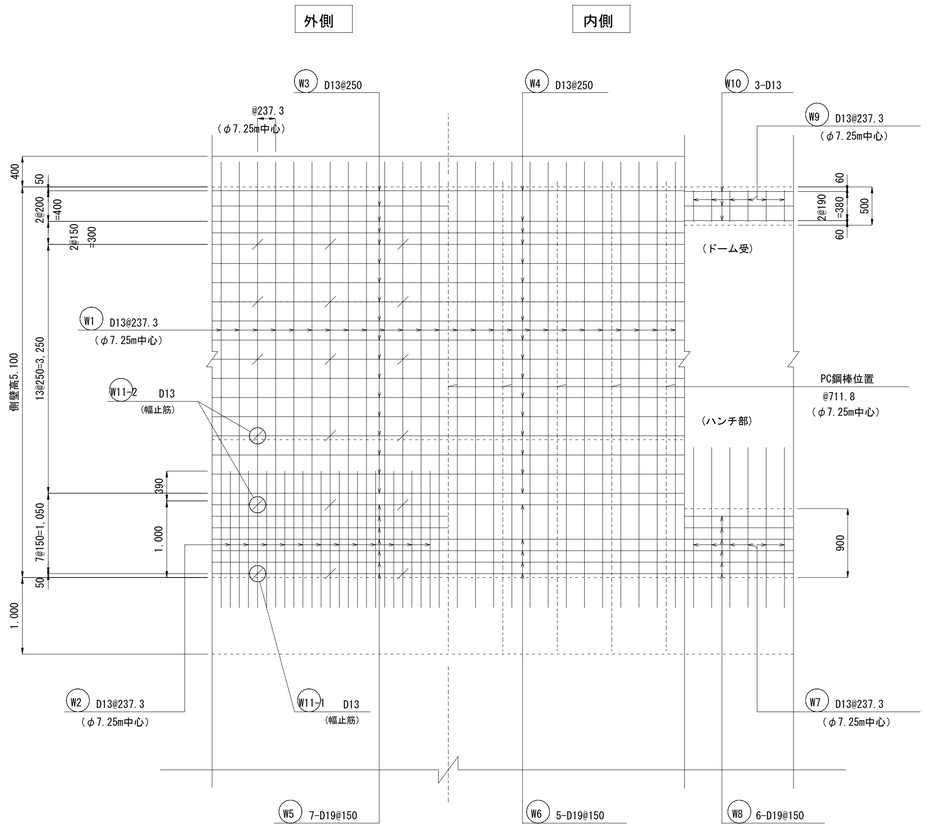
令和　　年度	
側壁配筋図	S=図示
三尺山高架水槽築造　　工事	
速見郡日出町大字大神	
測　量	令和　年　月　日
設　計	令和　年　月　日
H-11	
大分県日出町	

側 壁 配 筋 図

断 面 図　S=1:40

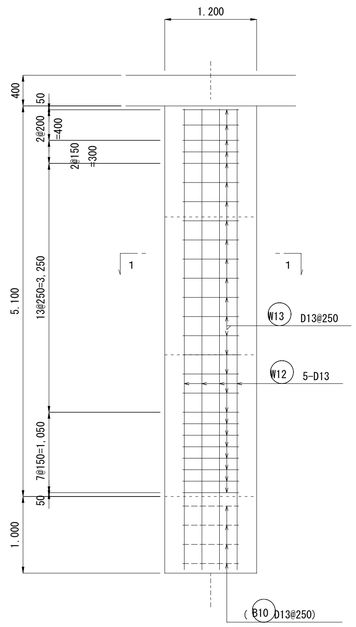


展 開 図　S=1:40

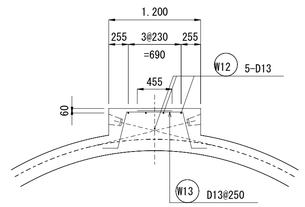


ピラスター

(N=4ヶ所)

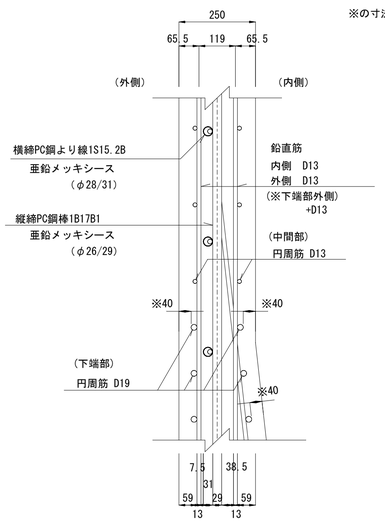


1－1

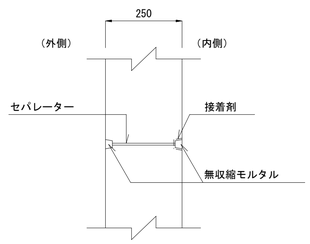


断面詳細図　S=1:10

※の寸法は、縁かぶりを示す。



(木コン跡処理)

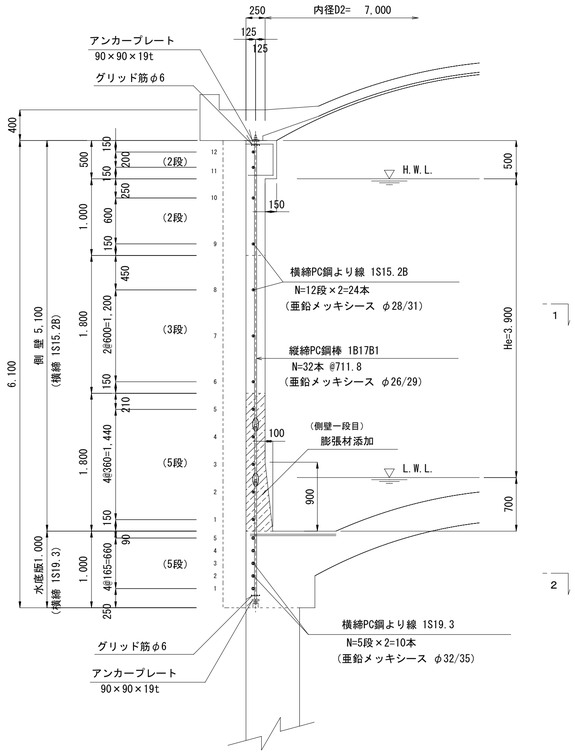


令和　　年度	
PC鋼材配置図	S=図示
三尺山高架水槽築造　　工事	
速見郡日出町大字大神	
測　量	令和　年　月　日
設　計	令和　年　月　日
H-12	
大分県日出町	

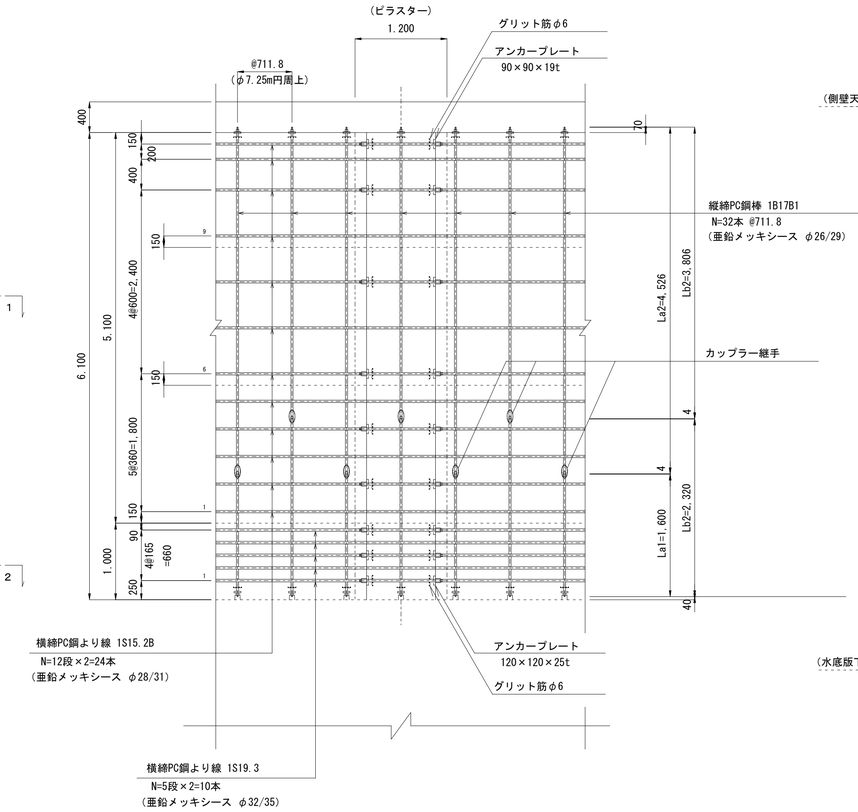
ＰＣ 鋼 材 配 置 図

ＰＣ鋼材配置図　S=1:40

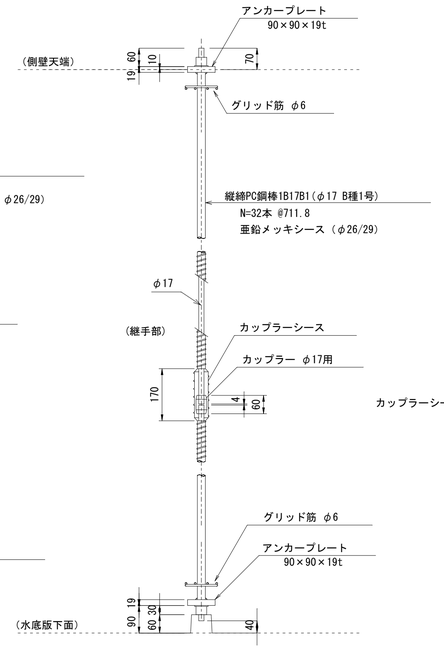
断　面　図



展　開　図



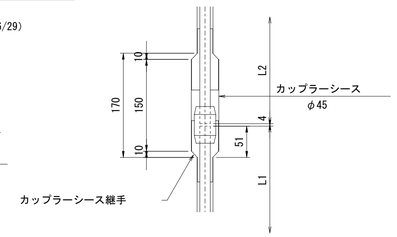
縦締定着部詳細図　S=1:10



(部品詳細図)

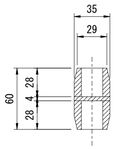
カップラーシース　S=1:5

(φ17用)

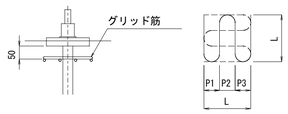


カップラー　S=1:3

(φ17用)



グリッド筋詳細図



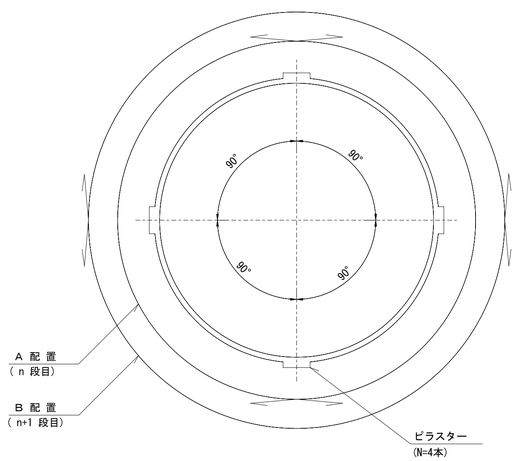
一　覧　表

PC鋼材	P1	P2	P3	L	グリッド筋径
1B17B1	30	40	30	100	φ6
1S15.2B	30	40	30	100	φ6
1S19.3	40	50	40	130	φ6

ＰＣストランド平面配置図

側壁部ＰＣストランドは、Ａ・Ｂ交互に配置する。

(1S15.2B)　N=12段×2=24本
(1S19.3)　N= 5段×2=10本

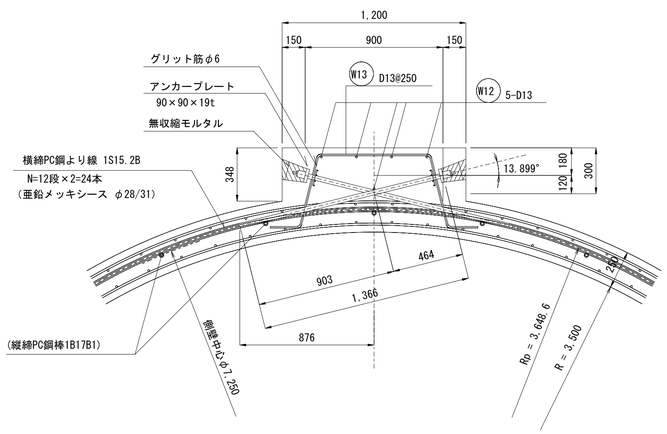


横締定着部詳細図　S=1:20

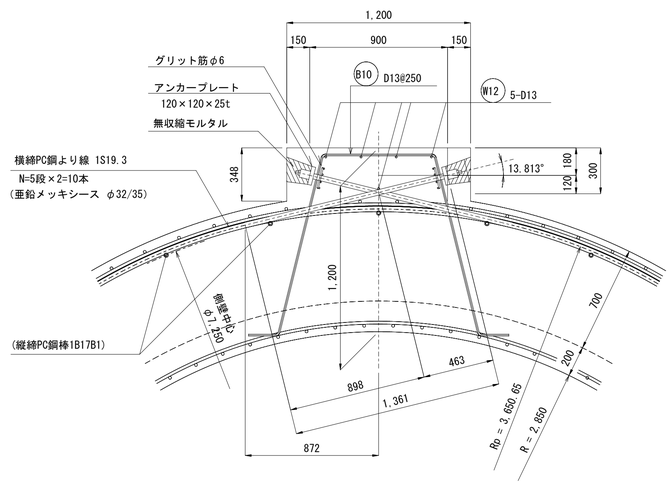
(ピラスター)

注) 鉄筋がPC鋼材や定着具等に干渉する場合は、
鉄筋量が不足しない範囲で鉄筋を移動させること。

１－１



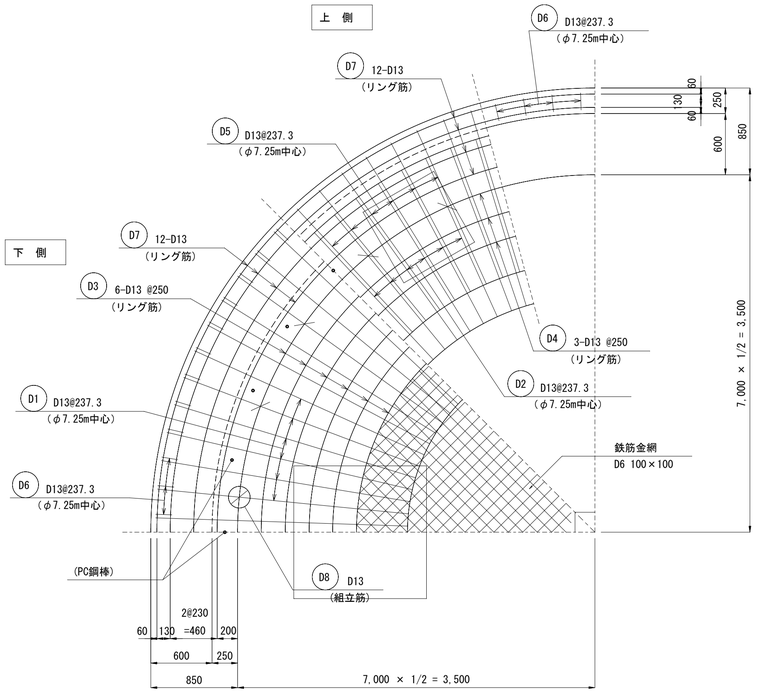
２－２



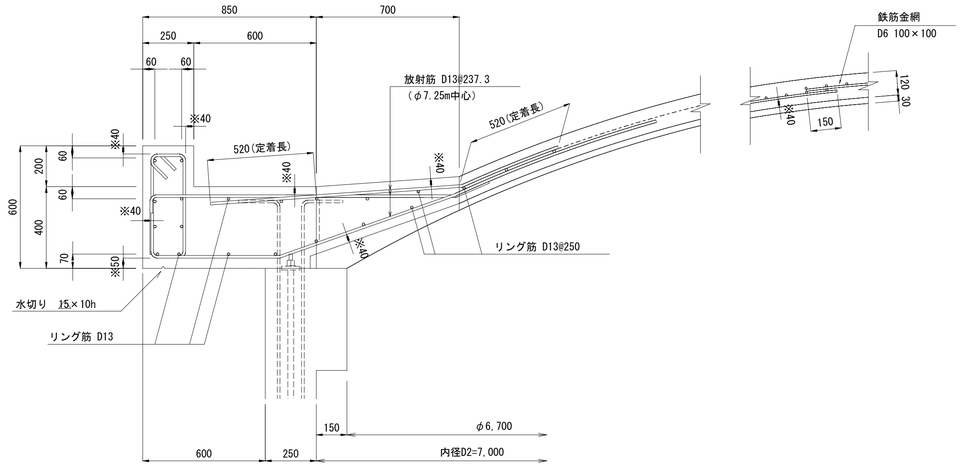
令和　　年度	
屋根歩廊配筋図(1)	S=図示
三尺山高架水槽築造　　工事	
速見郡日出町大字大神	
測　量	令和　年　月　日
設　計	令和　年　月　日
H-13	
大分県日出町	

屋 根　歩 廊　配 筋 図（1）

平 面 図　S=1:30



断面詳細図　S=1:15

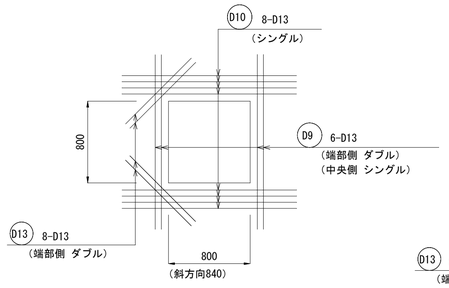


※の寸法は、純かぶりを示す。

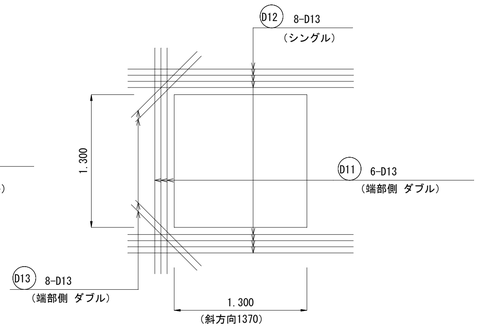
開口部補強筋　S=1:30

（N=各1ヶ所）

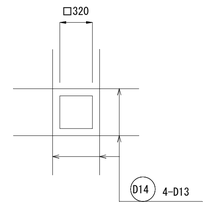
人孔部



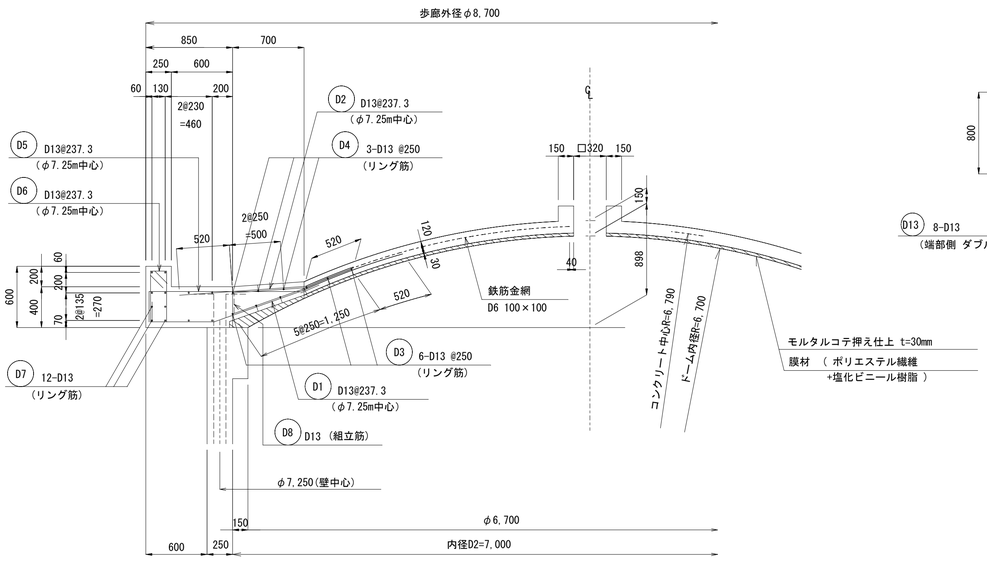
搬出入孔部



通気孔部



断 面 図　S=1:30



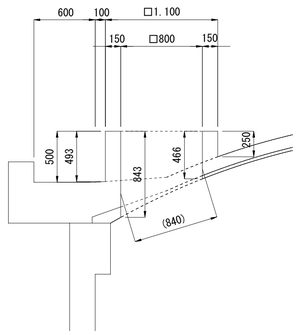
令和　　年度	
屋根歩廊配筋図(2)	S=図示
三尺山高架水槽築造　　工事	
速見郡日出町大字大神	
測　量	令和　年　月　日
設　計	令和　年　月　日
H-14	
大分県日出町	

屋 根　歩 廊　配 筋 図（2）

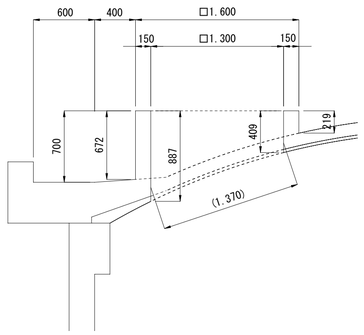
開口部配筋図　S=1:30

(N=各1ヶ所)

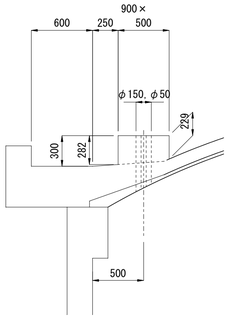
人　孔



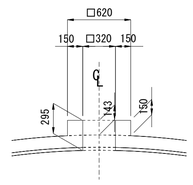
搬出入孔



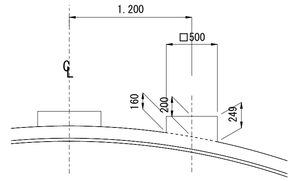
水位計基礎



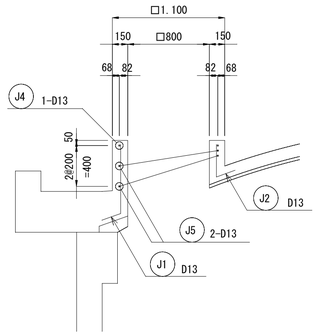
通気孔



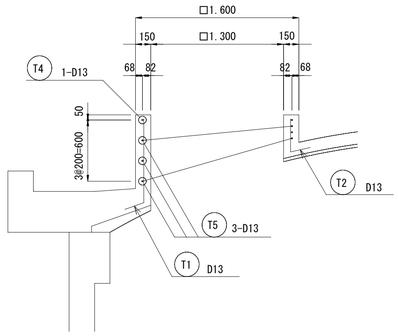
避雷針基礎



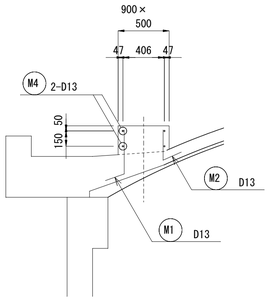
断面図



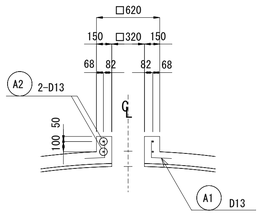
断面図



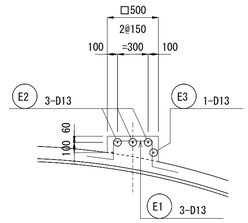
断面図



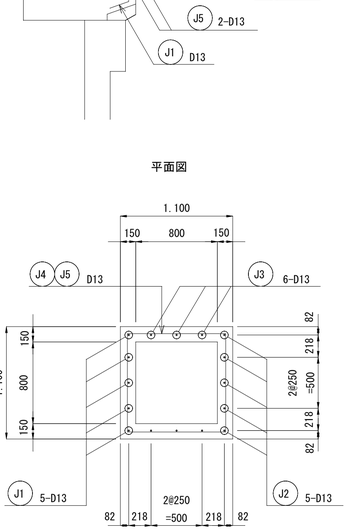
断面図



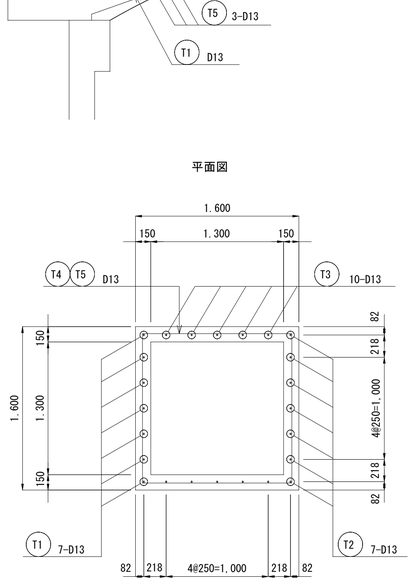
断面図



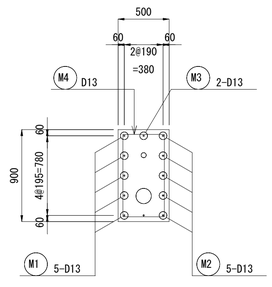
平面図



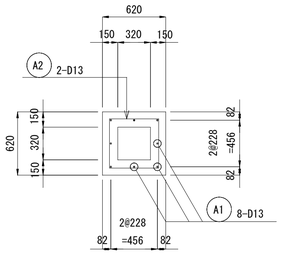
平面図



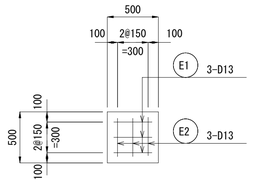
平面図



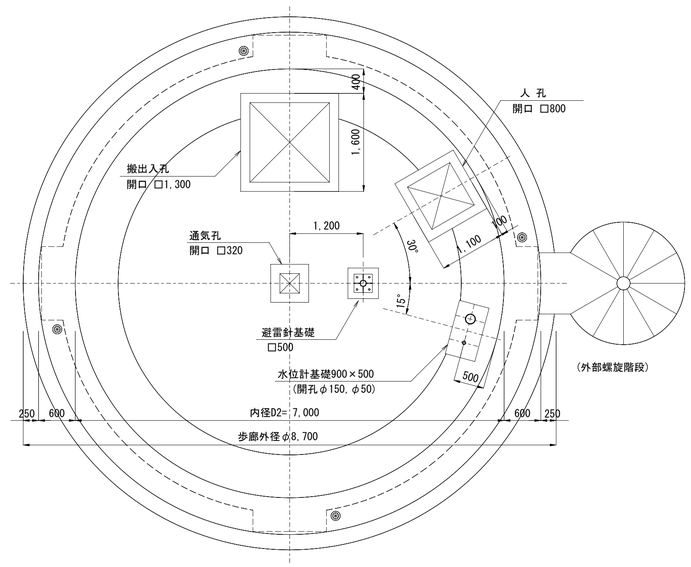
平面図



平面図



平面図　S=1:50

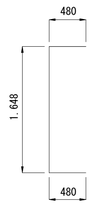


令和　　年度	
鉄筋加工図(1)	S=1:40
三尺山高架水槽築造　　工事	
速見郡日出町大字大神	
測　量	令和　年　月　日
設　計	令和　年　月　日
H-15	
大分県日出町	

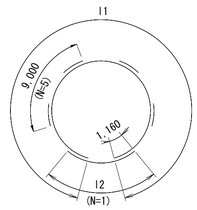
鉄 筋 加 工 図（1）

基礎版

F6　192-D32×2,610



F7　6-D29×50,210



φ= 13,767

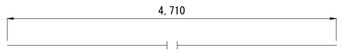
周長　L=πx13767=43250

(計算式)　l1=5@9000-4@1160=40360

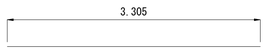
l2=43250-40360+2@1160=5210

l=5@9000+5210=50210

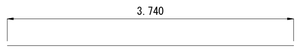
F1-1　96-D32×4,710



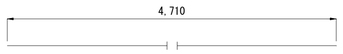
F1-2　96-D32×3,310



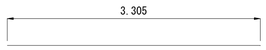
F2　96-D32×3,740



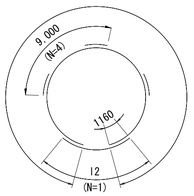
F3-1　96-D32×4,710



F3-2　96-D32×3,310



F4　16-D29×37,260　(平均長)



平均　φ= 10,015 (13660～6370)

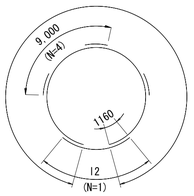
平均周長　L=πx10015=31463

(計算式)　l1=4@9000-3@1160=32520

l2=31463-32520+2@1160=1263

l=4@9000+1263=37263

F5　16-D29×37,260　(平均長)



平均　φ= 10,015 (13660～6370)

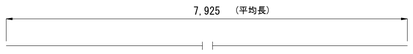
平均周長　L=πx10015=31463

(計算式)　l1=4@9000-3@1160=32520

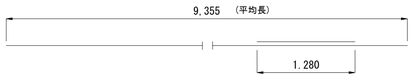
l2=31463-32520+2@1160=1263

l=4@9000+1263=37263

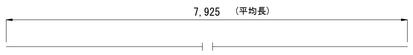
F8-1　36-D32×7,930　(平均長)



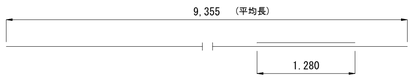
F8-2　34-D32×10,640　(平均長)



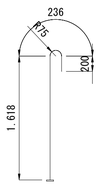
F9-1　36-D32×7,930　(平均長)



F9-2　34-D32×10,640　(平均長)

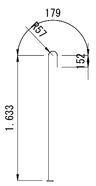


F10-1　960-D25×2,050



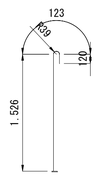
(プレート定着型せん断補強筋)

F10-2　864-D19×1,960



(プレート定着型せん断補強筋)

F10-3　277-D13×1,770



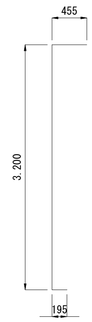
(プレート定着型せん断補強筋)

(計算式)　π/4x5.3 =22.1 m2

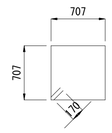
22.1÷(0.40*0.20)=276.3

階段基礎

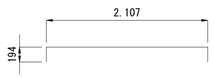
K1　12-D13×3,850



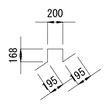
K2　5-D13×3,170



K3　40-D13×2,500

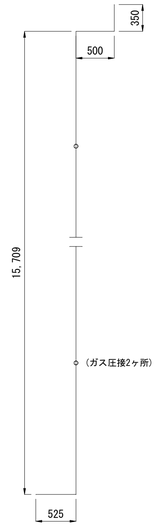


K4　4-D13×930



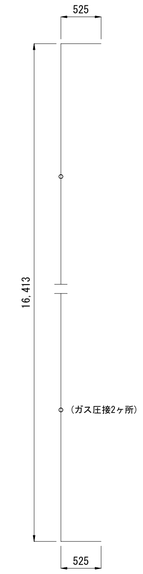
脚　壁

L1-1　96-D35×17,080



L1-2　96-D35×2,280

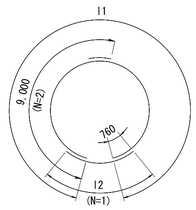
L2　96-D35×17,460



(開口部控除)

12-D35×2,060	34-D19×1,260
16-D35×　360	16-D19×　360
24-D35×　560	24-D19×　560
Σ=　1-D35×43,920	Σ=　1-D19×62,040

L3　69-D19×25,380



φ= 7,354

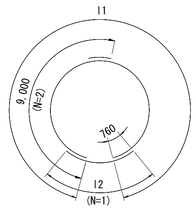
周長　L=πx7354=23103

(計算式)　l1=2@9000-760=17240

l2=23103-17240+2@760=7383

l=2@9000+7383=25383

L4　69-D19×21,900



φ= 6,246

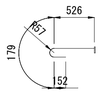
周長　L=πx6246=19622

(計算式)　l1=2@9000-760=17240

l2=19622-17240+2@760=3902

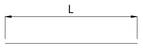
l=2@9000+3902=21902

L5　768-D19×860



L6　336-D13×940

L11～L17



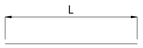
開口補強筋

記号	本数	径	長さ (L)	備　考
L11	12	D35	4,510	
L12	10	〃	3,710	
L13	16	〃	2,810	
L14	32	〃	3,010	
L15	16	D19	1,690	
L16	32	〃	1,890	
L17	136	D13	910	

L18　38-D13×890

L19　92-D13×940

L21～L27



配管補強筋

記号	本数	径	長さ (L)	備　考
L21	8	D35	3,000	
L22	8	〃	2,900	
L23	8	〃	2,800	
L24	12	D19	1,880	
L25	16	〃	1,780	
L26	16	〃	1,680	
L27	80	D13	910	

C1　10-D13×2,040　(平均長)

C2　10-D13×1,380　(平均長)